

新庄市エコロジーガーデン -先人が築いた歴史を次の世代へ-

1 社会資本の概要

国道13号につながる市道（北辰小前線）がエコロジーガーデンを横断し、北側の並木と南側に広がる緑地とともに良好な景観を創出しています。また、エコロジーガーデンは、昭和初期の歴史的建造物群と周辺の桜や桑、ケヤキなど多くの木々が風合い豊かな景観を形成しており、これらの周辺に広がる空間が、地域に賑わいを創出しています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

新庄市は地域全体として、若者の人口流出や地域活力の低下、地域資源の認識不足などの課題があり、また、「新庄市エコロジーガーデン」では、文化財としての保存・活用方法、市民・団体等との協働の推進、施設の希少性や価値観の向上等の課題がありました。

そこで、交流人口拡大や地域の農業・商業振興を目的に、当該施設の利用団体や関係団体、若者の農業生産者グループ、NPOなどの複数団体の代表者により「新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会」を設立しました。主な事業として地元の農産物や加工品、手づくりの雑貨や工芸品、地域の食材を使用した飲食店などが出店する手づくり市「キトキトマルシェ」を開催のほか、歴史的建造物と緑豊かな環境の中でアートに触れることができる環境芸術祭も開催しています。また、平成27年8月には、活用されていなかった建物の一部を市民の手づくりでリノベーションし、念願であったコミュニティカフェ「アオムシ」をオープンしました。



ボランティアによる花壇整備



キトキトマルシェ入口付近の様子



シンボルのケヤキの下に店舗が並ぶ



コミュニティカフェのオープン 地域食材を使ったメニューを提供



山形県 新庄市

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会／新庄市

3 活動の成果や波及効果等

実行委員のメンバーの発案から、地域ならではの特色ある「食」「農」「暮らし」「手仕事」などにこだわり、様々な事業を行ってきました。来場者数は、平成24年度の3,000人から平成27年度には10,000人を超えるほどになり、多くの市民ボランティアに参加いただいております。また、若者にボランティアとして参加してもらうことで地元の良さの再発見やコミュニティの形成、地域の農業振興、地域活性化に寄与しています。



ボランティアスタッフである若者たち



農産物の加工品や手づくりの工芸品の販売

喜びの声



受賞者

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会
実行委員長 樋口 修 (写真: 右端)

コメント

この度は手づくり郷土賞ありがとうございました。先人が守ってきてくれた宝物を次世代に繋ぐこと、伝統や楽しさ大切さを含め古い物を受け継ぐということは未来を創ることと思います。誰でも笑顔になれ、誇れる場所になるようにという思いを再確認させていただきました。数年後大賞部門へステップアップできるようにがんばります。ありがとうございました。

活動内容

地元の農産物や手づくりの雑貨などが出店する「キトキトマルシェ」の開催、コミュニティカフェの運営等

活動の経緯

平成24年 実行委員会設立
平成24年 キトキトマルシェ開催
平成27年 コミュニティカフェ

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

山形県新庄市

活動主体及び連絡先

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト 実行委員会
(0233-22-2111 事務局: 新庄市商工観光課 加藤 明)

対象となる社会資本

新庄市エコロジーガーデン「原蚕の杜」、市道 ※管理者: 山形県新庄市

